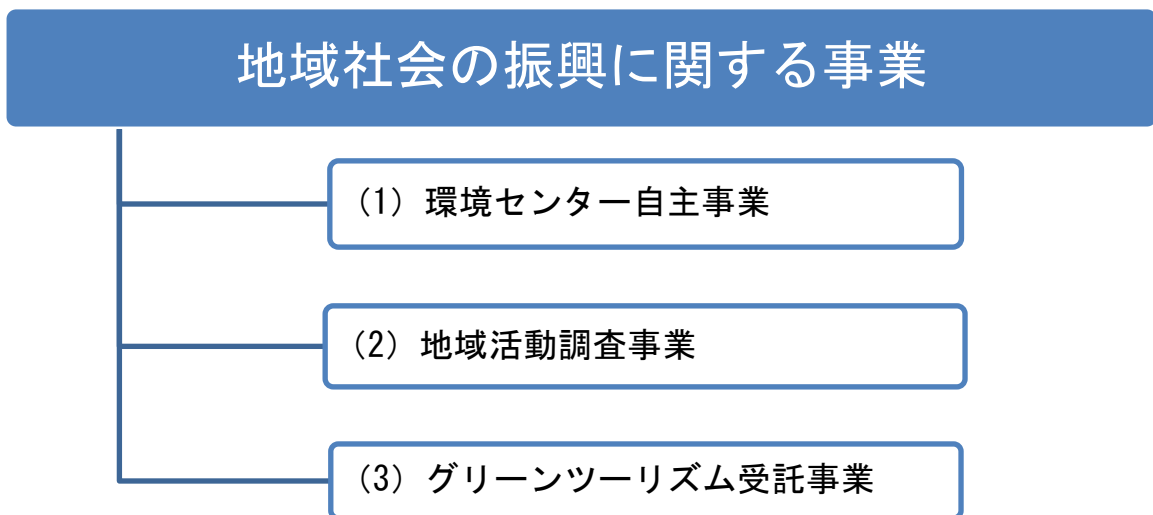


## 平成 29 年度事業計画

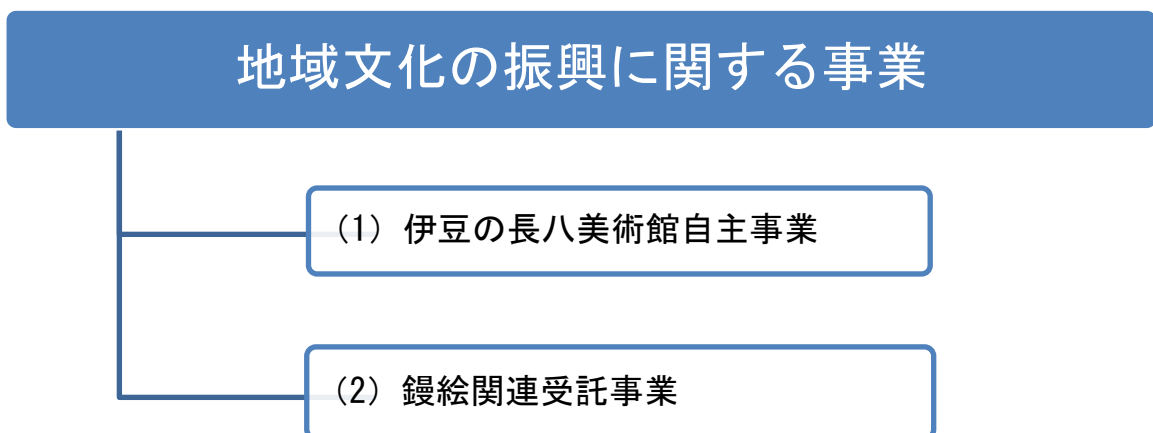
平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

### 事業体系図

#### 定款第 4 条第 1 項事業



#### 定款第 4 条第 2 項事業



定款第4条第3項事業

## 松崎町から受託する公の施設等の 管理運営に関する事業

(1) 伊豆の長八美術館管理事業

(2) 重文岩科学校管理事業

(3) 明治商家中瀬邸管理事業

(4) 環境センター管理事業

(5) 民芸館管理事業

(6) 道の駅花の三聖苑管理事業

(7) 伊豆まつぎ荘管理事業

定款第4条第4項事業

# その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## (1) その他事業

### 公社経営方針

当財団は、「松崎町の地域資源を活かして、町の発展と文化活動の振興を図るとともに、町が設置する公の施設等の効率的な管理運営を行い、もって住民の福祉の増進に寄与する」ことを目的として定めている。

財団経営においては、定款に掲げたこの理念に基づき松崎町と密接に連携し①「地域社会の振興に関する事業」としてグリーンツーリズム受託事業の推進等3事業②「地域文化の振興に関する事業」として鰻絵関連受託事業等2事業③「松崎町から受託する公の施設等の管理運営に関する事業」として伊豆まっごき荘管理事業等7事業を展開する。自然や文化といった地域資源と公社がこれまで培ってきたノウハウを最大限に活用し、地域コミュニティとの協働によるネットワークを構築し事業展開する。各事業においては引き続き効率的な運営を図っていく。

### 事業区分別事業

#### 1. 地域社会の振興に関する事業

##### 定款第4条第1項事業

(1) 環境センター自主事業		予算額
		258 千円
目的	料理教室は、地域住民を対象にホテルの元料理長や管理栄養士、パティシエを講師に招いての本格的なメニューや人気のケーキ等バラエティに富んだ内容で開催する。カロリー計算や健康、栄養バランスに気を配った和食や、家庭のできる本格的な洋食、民宿や旅館で提供できる地産地消をテーマにした料理等を学び食生活の意識の高揚を図っていく。	

29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
料理教室	6月（お菓子）	和食2回	環境センター 調理実習室
講師	7月（洋食）	洋食4回	
	9月（和食）	お菓子2回	
朝倉穂積（洋食）	10月（洋食）		
佐藤健司（洋食）	11月（お菓子）	受講者 各回15人	
佐野ちえみ（和食）	1月（洋食）		
瀬戸正志（お菓子）	2月（和食）		
	3月（洋食）		

(2) 地域活動調査事業		予算額	
		30千円	
目 的	<p>公社では、近隣の観光施設や宿泊、交通機関等の入込状況を調査し、静岡県や松崎町の行政機関、金融機関等へ観光情報や流動実態調査の資料として情報提供する。このデータは、観光実態の把握と今後の対策に活用されている。</p> <p>また、町内イベント等の観光情報は「温泉郷だより」として毎月旅行会社やマスコミ関係者に発送していく。この情報はホームページでも提供していく。</p>		
29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
地域活動情報の収集、提供	通年	12回	環境センター

(3) グリーンツーリズム受託事業		予算額	
		7,000千円	
目 的	<p>公社では、松崎町の豊かな農山漁村の地域資源を活用したプログラムにより、都会の人々と地元住民との交流を図っていく。子ども農山漁村交流プロジェクトの誘致活動を行うとともに、受け入れ態勢の再構築を図る。</p> <p>グリーンツーリズム事業については、公社ホームページで情報発信を行っていく。</p>		
29年度の予定			

内 容	実施時期	実施回数	実施場所
協議会 危機管理講習会 指導者養成講習会 体験メニュー開発 温泉郷だよりの発行 情報発信の強化(HP) ジオパーク事業推進 子どもプロ誘致活動 自転車事業推進	通年		松崎町内

地域文化の振興に関する事業  
定款第4条第2項事業

(1) 伊豆の長八美術館自主事業		予算額	
		577 千円	
目 的	<p>「漆喰鏝絵教室」「栄光球教室」は、郷土の左官の名工伊豆長八を生んだ松崎ならではの事業である。わが国古来の左官材料である壁土や漆喰は、近年ホルムアルデヒド対策として見直され、また、自然素材がエコロジーの観点からも注目されている。鏝絵や栄光球の作品づくりを通じ環境問題にも触れていく。</p> <p>社会教育や学校教育との連携を図り実施していく。</p>		
29 年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
漆喰鏝絵教室	通年		伊豆の長八美術館 民芸館・小中学校
栄光球教室	通年		
美術館ワークショップ	通年		

(2) 鏝絵関連受託事業		予算額	
		1,500 千円	
目 的	<p>第18回「全国漆喰鏝絵コンクール作品展」「現代の名工作品展」(仮題)を開催し、鏝絵文化の普及を図っていくとともに全国で鏝絵に取り組む人々や保存地域との交流を深めていく。</p>		
29 年度の予定			

内 容	実施時期	実施回数	実施場所
全国漆喰鏝絵コンクール入賞作品展、佳作作品展 松崎小学校「ふるさとクラブ」漆喰鏝絵作品展 現代の名工作品展 松崎発なまこ壁と鏝絵を未来へつなごうプロジェクト協賛事業	9月末から10月末	1回	伊豆の長八美術館 環境センター
	9月10日頃から9月25日まで	1回	ロビー 環境センター ロビー
	12月中旬から1月中旬まで	1回	伊豆の長八美術館特別展示室
	4月から9月		伊豆の長八美術館、 重文岩科学学校

### 松崎町から受託する公の施設等の管理運営に関する事業 定款第4条第3項事業

(1) 伊豆の長八美術館管理事業		予算額	
		30,000 千円	
目 的	<p>伊豆の長八美術館の管理運営を通じ、漆喰芸術の振興や普及啓発を図るとともに、長八作品の収集や保存、展示により「漆喰鏝絵の殿堂」として魅力的な美術館づくりを推進する。</p> <p>2015年度の生誕200年を契機として、改めて長八の超絶技法の魅力発信に努める。また、資料の整理や館内環境に配慮した運営を行っていく。</p> <p>企画展「松崎中学校生徒第1回制作展」を開催する。</p>		
29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
美術館の管理運営	通年	入館者 39,000 人	伊豆の長八美術館

(2) 重文岩科学学校管理事業		予算額	
		26,900 千円	
目 的	<p>国の重要文化財に指定されている旧岩科学学校の管理運営を通じ、文化の向上及び文化財保護思想の普及を図っていく。姉妹館の旧開智学校や磐田市の旧見付学校と交流を深めていくとともに、他の学校ともパンフレットや情報交換をしていく。</p> <p>開化亭では、季節を感じさせる喫茶メニューや特産品、地場製品の販売に力を入れていく。</p> <p>芝生や庭木などの庭園については、専門業者と職員により適切に管</p>		

	理していく。		
29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
重文の管理運営 開化亭の管理運営	通年	入館者 23,000 人	重文岩科学校

(3) 明治商家中瀬邸管理事業			予算額
			13,800 千円
目 的	<p>明治商家中瀬邸の管理運営を通じ、歴史的資料の保管並びに展示を行っていく。併せて松崎町のインフォメーションセンター及びジオサイトビジターセンターとして情報提供していく。</p> <p>インバウンド対策として QR コード導入による多言語化を図り欧米や台湾からの観光客に対応していく。</p> <p>施設内の黒なまこ壁は町内唯一のもので、全国的にも稀なものと考えられている。重厚な土蔵扉と精巧な出来栄えのなまこ壁を広く紹介していく。</p>		
29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
中瀬邸の管理運営	通年	入館者 20,000 人	明治商家中瀬邸

(4) 環境センター管理事業			予算額
			25,300 千円
目 的	<p>環境センターの管理運営を通じ、住民の生活改善合理化、健康増進、地域連帯感の醸成に寄与する。住民のコミュニティ、文化活動の拠点施設として、また、東海地震に対する防災拠点としての役割も果たしていく。施設や設備の定期的なメンテナンスを行い町民の利用促進を図っていく。</p>		
29年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
環境センターの管理運営、ロビーの運営	通年		環境センター

(5) 民芸館管理事業			予算額
			19,600 千円

目的	民芸館の管理運営を通じ、地域振興に貢献していく。1階では、町の特産品であるさくら葉を使った商品の普及や石部の棚田、オリーブのPRに努めると共に、町内外のイベントへ積極的に出店し松崎町のPR及び販売を行う。2階の体験工房では、饅絵や栄光球の体験を通じ、左官や饅絵に関する知識及び技術の習得、普及向上を図るとともに、展示スペースはギャラリーとして活用していく。		
29年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
民芸館の管理運営 1階特産品販売 2階体験工房、ギャラリー	通年		民芸館

(6) 道の駅花の三聖苑管理事業			予算額
			50,600千円
目的	花の三聖苑の管理運営を通じ、地域の振興と道の駅利用者の利便性向上に努めていく。施設の運営には、地域の高齢者にボランティアとして積極的に携わっていただくとともに福祉の増進にもつなげていく。 重点道の駅では、伊豆半島の周遊を促進し外国人対応においても駅間連携を図っていく。また、道の駅の将来構想については行政と協議していく。		
29年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
三聖苑の管理運営 天城山房 かじかの湯 三聖会堂 大沢学舎	通年 天城山房 食事営業 328日 夜間営業 133日 かじかの湯 営業 364日	食事利用者 12,500人 喫茶利用者 8,500人 売店利用者 12,000人 年間入浴者 36,000人	道の駅花の三聖苑

(7) 伊豆まつぎき荘管理事業			予算額
			289,400千円
目的	伊豆まつぎき荘の管理運営を通じ、地域の活性化と雇用の確保を図っていく。指定管理第4期として新たな5年のスタート年となるが、本格的な黒字経営を目指す。町観光協会と連携して宿泊客に観光情		



<p>報の提供や各種体験プログラムの斡旋を実施するなど公共の宿ならではの事業を展開していく。国民宿舎開業から 50 年余が経過したが、従来からの経営方針を継承し地域住民に愛される伊豆まつぎ荘であるよう独自のプランやイベント等を計画していく。さらに、法事等の会食や敬老祝賀会、各年代の同窓会の場として更なる利用促進を図っていく。</p> <p>近年、宿泊者から禁煙室の要望が多く寄せられているため、4 階全室の禁煙化に対応していく。また、今後の健全経営のため、休前日料金加算を実施していく。</p>			
29 年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
伊豆まつぎ荘の管理運営	通年	宿泊利用者 23,500 人 (利用率 47.0%) 休憩利用者 11,200 人	伊豆まつぎ荘

その他この法人の目的を達成するために必要な事業  
定款第 4 条第 4 項事業

(1) その他事業		予算額	
		千円	
目 的			
29 年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所